

## 「韓国語研修 (OSP-L-2013-8) 参加報告書」

京都大学文学研究科 D2 Rudy Toet

研修の主眼として、ソウル大学の言語教育院において韓国語の語学コースに参加した。昨年も参加し、今回は2度目の参加だった。このコースはクラスが1級から6級まであり、クラス分けテストを受けて5級に当てられた。平日は毎日9時から13時まで授業を受け、8月14日に試験を受けた。

以前から韓国語を学習していたが、この3週間は集中的に学び、課外でも多く韓国語に触れる機会があったため、日本にいてもなかなかできないペースで上達できたように思う。このことは、将来的に韓国語を対象に入れた研究の可能性に直接につながっている。今後も、その目標に向かって韓国語の学習を続けていくつもりである。

また、言語教育院で語学コースに参加する学生たちは世界各国から来ており、多国籍であって、国際交流の機会も多かった。

語学の授業以外にも、週に数回、午後にソウル大学の国際大学院で韓国文化及び社会についての講義を聴いた。韓国の民主化及び経済発展につれて社会がどう変化したのか、北と南の関係がどう展開してきたのかなどについて、幅広く現在の韓国社会とその背景について知ることができ、大変参考になった。

国際大学院の学生たちと会って意見交換をする場も設けられ、各国の文化の違いについて話し合っ、様々な刺激を受けた。このように、参加者の皆の国際理解を深めることができた。

自由時間の週末には、例えば景福宮や西大門刑務所、日本大使館の近所などの見学を行った。後者2つは特に韓国における20世紀の歴史の認識について参考になった。景福宮では国立古宮博物館へも行って、韓国の歴史について知識を得ることができた。

昨年と本年の研修への参加は、韓国及び韓国語についてだけでなく、東アジアの文化の多様性について知る機会ともなり、非常に貴重な経験だった。